

Shaw, Henry

**Dresses and decoration of the Middle Ages. 2v.**

London, William Pickering, 1843. (文献番号 3-82)

Hiler p. 796 Calas 2720 Lipperheide 325

ショー著

中世の衣装と装飾 全2巻

7世紀から16世紀までのフランスとイギリスの服飾及び工芸に現われた装飾を華麗な手彩色図版(一部は色刷り石版)で見せている。装丁も上部小口に金箔を施し、扉、本文各章の書き出しも彩色した装飾文字を使用して全体に趣向を凝らし、本書自体が一つの工芸品のようになっている。第1巻は中世国家の建国から14世紀まで、第2巻は15、16世紀を収録してある。序文には、各年代ごとに歴史的背景を混えて、服飾史の概要、婦人の服装、兵士の服装、聖職者の服装を解説している。また、装飾工芸品——キャンドル台、聖餐杯、十字架、時計など——各時代の代表的な装飾や文様が衣装と対応させて描かれている。資料は大英博物館の所蔵品及び当時の私的コレクションをもとに、中世の写本、墓石、ステンドグラス、タピストリーなどに求めている。本書は1858年にロンドンのボーン社から再版されたが、1872年にはフランスで同じく華麗な図版のフォリオ版が刊行された。本書の評価が高いことはストラット(J. Strutt)と並んで後代の文献にしばしば引用されていることでも知られる。この図は、「マーガレット王妃に写本を献上するジョン・タルボー伯」。15世紀の貴族社会においては、贈物が盛んに行われ、皇族や貴族が国王に高価な品物を献上したが、この時、華麗に彩飾した写本も一緒に贈呈された。名家であるシュルーズベリーの伯爵ジョン・タルボーの命により作られた「王家の写本」(Royal M. S. 15 E. VI)は豪華で、その写本の初めの部分にはタルボー家歴代の肖像画があり、ガーター勲章の衣装をまとったジョン・タルボーの肖像画が描かれている。図は、タルボー伯爵が、夫であるイギリス王ヘンリー6世の側に坐っているマーガレット王妃に本を献上している様子を描いている。大英博物館の1445年ごろの写本による。

